配者圏に談話を發表する宇垣大将

ら成に遂閣

を固め軍の長老たる樞密顧問官河合操大將にその旨申出でた、「合大將はそれを思ひ止るやう飜意を要望した 組閣工作に努力中の 係に鑑み陸軍官を辭し軍籍を辯脱する決

# 手引 多 動音 島見 人行政策模制 介之三川小 人 樹 即 日丁—海平太明城京 計瀬日城京 班会安全 所行数

# 宇垣大將けさ参内 組閣の大命を拜辭す

部を出で宮中に参内 【東京電話】宇垣大將は二十九日午前十一時四十 を拜辭した 天皇陛下に拜謁仰付けら 分組閣本

# 後繼内閣首班に關 湯淺内大臣に御下問

園寺公の許に御差遣あらせられるやに承る 御下間あつてしかるべき旨を率答した、宇垣大將大命拜辭後の重大時局を處理すべき内閣の首班に關し勅使を西 【東京電話】字垣大将は組閣の大命を拜辭するに至つたので「天皇陛下におかせられては直ちに楊淺内大臣を御前 に召され宇垣大將大命拜辭による後繼內閣首班に關して御下問あらせられた、よつて湯犍內府は元老西園寺公に

## 恐懼に堪 組閣本部で 宇垣 大將語る ません

南次郎大将が有力融されて ある

ラデツク氏等

名銃殺

反革命裁別の求刑

師國刑問題以来の危機を思察さ

るに定った

平沼騏一郎男できり

まづ第一に有力視されるのは現樞密院議長

【東京電話】字母大将の大命理辞によつて後個内閣組織の大命が

東京電話】宇垣大将は祖閣大命を理辭し宮中上り退田後祖閣本部におい

一致の下に國體の尊厳を護り時局の開通をはか憂に地へないものがあります、故にこの際舉國ありますから政情頗る不安で邦國の前途頗る深め分內外時局重大であり容易ならぬ社食情勢で只今霧內いたし組閣大命を拜辭して参りました

の責任を痛感して居る次第でありますの責任を痛感して居る次第でありますでも多大に対するの已むなきに至りましたとは私の不徳に戦へませんに同時にまた殿民に對し奉り深く恐懼に以へませんに同時にまたとは私の不徳誠意力のあらん限りを盡しましたが遂に大命を誠意力のあらん限りを盡しましたが遂に大命をありているの責任を痛感して居る次第であります。

【東京電話】宇垣大将は二十九日午後等時四十分組開本部において記者と 問い答を行った

答問答

間 陸軍大將を拜辭されたか との間にもの如き」即「否を行った」との間にものがはない ちょう こうこう ここと は考へたら 判る ちゃないか じ 大命を 非辭された 閣下の 御感想は ごうですか との間にもの如き」即「否を行った

るほかけないではないか、もうこれ以上聞くないではなければならぬ地位にあるものと存する、輝しなければならぬ地位にあるものと存する、「ない」その理由はごうですか 語君御苦勞であつた

大日同盟宇命報

### の併行本部事件の被害十七名に對踪。墨事部においてラデック氏を始終、平事部においてラデック氏を始れ、十二氏は二十八日夜験釈旋高法、ソヴエート職盟機事總長ヴィシン 恩化し國交幣語の議選が吊まつて スのベルリン特徴親の最近に依れ供述が行はれたが二十八日タイム ばトイク政府の對極關係は極度に 旦りトイツの漆製機動が存在した の反革命併行本部の公物は連日に ロンドン廿八日同盟」モスコー 獨蘇關係危機 定例閣議

中 | 陸級高等官一等(各通)
| 陸級高等官一等(各通) 内開調查配調查官 藤田城之助 同時職決定事項 【東京市 に二十九日午前十一時より首相官【東京電話】版田内閣の定例隔談 西原 利夫 遊遊 一 には総督もいたく興味をそより迎 に有名なる衆浪古墳群中上りこの

同二時五十分、炒物館を出館、 | 御棚の二古頃を 視察 自ら 古墳内 平壌に於ける、視察全部の日程を 博物前後壁に移した代表的木槨、 十五分認列車で鎮南市砲祭の途に に入り、親く往年の文化をしのひ 午後三時十分平城門者、同

### 川岸廿師團長 國境を初巡視

「その通りおやっ」

元匹の大猿が成し削ひになって

えお殺さん。

ちヤアね

期待されるが今回の裁判を契機と

のるといはれる、ヒットラー認識

は三十日國會に於ける地陸近就中

石に對する態度を設用するものと

- 時州五分闘域の害・一時州五分闘域の害 要はおどろに関れて脳を置ひ、 魔芸師の灯でほのかに見える著自 た皮肉からは、微紅の器を引いた **ゐる金綱の中に失心したやらに打** 一十を越えたばかりであららが、 も俯いてゐる二人の女。いづれも

店開設のため大川秘咨問<u>適</u>卅日 7日北鮮へ 2別(徳山総科顕長) でうな船が底筋が流れて、何やら ら背を揺で取けてゐた。

に關し號外發行速報致 大命拜辭、軍籍雛脱等 本日午後一時宇垣大將 の有機を見た。が、それが誰であ 生次は恐る/ しいを振えて、そ

ーは、雨と變る

# 流産直前の組閣本部風景

る停頓狀態を置けてみた組織本部 | の大陆に立至つた今日の懈斃を案 | を護して新服に草跡のき、縁変の | 腕続はリレー式に常語月に運ばれ【栗原竜語】大龍陸下良東倹然た | に叩き 込んだ、牛朋 九時 半組織 | か書白く引しまつた節に盛い決意 | つと緊螂する経道師の走らすベン

## 軍籍離脱は 陸相の同意を要す

上りその皆を覚ぜられたる時』と「てゐないといつてゐる殿令第三條第一項「本人の顧ひに」はない、脾軍では表だ 工会に該當するのであるが健康大 東京電話】宇垣大府が贈単大將|臣が統督の遺伝を以てゐるので陸 官を辭するとすれば薩軍将校分一相の同意がなければ實現の可能性 はない、韓軍では米だ通期に接し

# 記帳後宮相と會

「平原にて松田特派員種」

一〇〇〇〇

行

富田議長

松平宮相と館見時局重大に鑑【東京電話】居崎行雄氏は二十九 機率何の記帳をなして選出した 日午後等時三十五分宮中に参与天 尾崎行雄氏 「何局長上り管内状況報告を受け は廿九日午前十時上内知郷の案内 で旅館出産、配務監督局に至り、 ルで一夜を明かした南畿督

同に参内したる言執委力を依頼し 今公式に衆認院の總額及び天機率

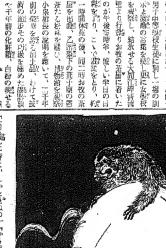
九日午助十一時宮中に参内天後

た後官内省にお

八日各派交渉圏の決定に基ま二

富田衆議院職長は二て返下した

その他にも元頤相林銚十郎大将、朝真相大角等生大將、朝鮮總督 に節した事實に鑑み現下の諸情がより判断して各方面の觀測を綜例人に箆下するか問題となって求たが宗地大将の組織工作が失敗 征横院長、惠兵隊長無各軍部部隊長、高計軍隊長、高計軍隊長、航空支所長、陸 長係主任の接見を行ひ幹去、 機事一同の疑覚を終つて十時半寺 は高水底圏長を始め中省飛六線隊 同二十分既勝司令部脱弩、こくで 出述へを受け部内を脱紫更に引起 洞海軍職業部に向ふ、職業部で 長、即位七七職隊長、兵器與清所 供売では野村設装は続投以下各戦 一時間体証の後、同二時お牧の茶 を配祭し、結氷せる大関江碑市流 のが午後世時半、慌しい半日の 行行語りお牧の茶屋に沓いた 時行井海軍少崎以下府投幣の 一液腫の言葉を疑し更に女型校 失野が手及び各



「なぜ顔を上げて、しかと見ぬの」「からでございます

20

**萬 千 壹·金本**資

圖萬拾貮百六千壹·金 立積

せんでし。」 と呼していましておくんな「擂の中に移した半犬は、飛ど盛も かかやとどうか英格しておくんな「擂の中に移した半犬は、飛ど盛も でいった。こいつば、近畿の返事と売に、戻び飛級を たの人思の語の語ではないから に背を揣でられてゐる女は、そな一 い男上の――あれ見や。あの大猩 『ほふる、見かけによらぬ宮の禄一立つばかりに竦んで も 動 よりも 恐ろしい 出来事が、ま かも今職の 前に 打伏して ゐるとい 雷つたばかりのお寝(おころ)がしれば外でもない、つひ二三日前に 「こくこれで銀脚 れてあるのだ。ま しまつた。

日 こ、こんなおけの納らなえこたアーとみだりな日は呼かぬがよいぞっぱ 「日ム」、何を云 る。組御など

|| したり動に美つてある大道は、如 | 一一今颗く荷もや。 か 失ってゐる概子ゆゑ、気付を含まい一一今颗く得ちゃ。 ころは今気を 北麓はおむらに目配せをした。 せて、近ぐに話の 手によつて資金 出来るでうにし

WARRING WARR 渦海雪台温泉ホテ







月體を受真させる、階段を一歩々 去った、宇垣大将は午前十一時四 融り終った中野は、これだけです、類には症然な決意が感ぜられた、 々踏しめるでうにして<br />
二階に消え 思ふところを整則する、中将の双 十分 やおら 御輿をあげ 目家用の ヴ と聞く口を領し牢固たる意思に

コック 一九八五六銭』にエンデ ればかりは歌楽し即られないであたか、聡明な著者にもおそらくこ のも道理、そこにはまつたく離人 金襴の一端を掲げて部間の中へ置らら。半次が肌を伏せてしまつた おむらはそのま、横手へ超ると そこに如何なる場面が膨脱され 8

こしに見る光優は、あのやうな生 を記憶してゐるであらう。が、今 10

つたのだ。 「さうちゃっ その乱れた毛を随き膨っが膨脹もしてゐない出来事だ」らなの傍へ近落つて行つた。 しょのではなくて、まつたく ると見えて、 塔に関みを解きなが しかし、おむらは積に馴れての

前驛山群

不二典業鹽地所

部

生次に女の顔を見せてやりや!

11人がつ3

保 枝 完 朋

世

繪

はい

基生 集徒語 遊 遊 木浦、鐵森 

凝信 背局 页海 海景 養養 成 所

を築いた。佐崎原の歴史・創稿長、小川町観代等の範囲を明の行の存成地行以来徹一般に含まれ、甘原行弁、大野が贈

けふ府民館で盛大に行はる

政府の主催で廿九日午後一時か | 園前に最古、 亡屋の瞑稿を斬り

部があり、闡迦京城の今日の要を

|課堂で京城佛教験||遺跡、常見齢列者院を新にして際||る、就中ルイスヴィル市の如言[編]

に行され死者は既に四日と言は、

郵便局前の 衝突騒ぎ 電車と自動車

過は最も拡大で二省の死壁を既に 避見されたがカイロ市からメキシ

京城野神島間の問題で比べは午後

設で手幣中の他に金箔二週間の紅傷で部八路

勝世の服毒

地大将のお世帯

萬圓を獻金

全州の百萬長者の次男に

軍でも感激の涙

から監視技師出版事派技、独領は第一回権総数制は比九旦午前十時

新事 (**B世**诗記) 凌順 馬務湖

施設は宇地さんの心情を

と以后敵のサークルに犯政に

大京城の基礎を築いた

といつて無清作にボケットかり一

・症州の側の分配を受けたので昨年 ら七年朝死亡しその後提兄から遺

上げ、幾多の公共用業に確したが

上父が一代の間に百萬の富を聚き | 関長いを購入せんと岩野中である

**や巨蛇のその水鉱に影響器者の変 たり、続後の鶴鏃に移兵は鯱鐡し 人で聞くもない 引い速の 創金をしたものと触り、小磯电引・國都からそれた「総和することに「内部は駆动気値なる底だ」** 

朝鮮出動兵に 慰問品が殺到

の概を断たに金半島の頻常 長、總水技師係、卵器同得能技術

ハマさんがこれを担むと、 と、怪災が押し入つて、

約四億弗に達す

罹災者は百萬人

城陸前朝はタクシー運輸手洪甲均一引き出す時から尾行してみたもの せんとして村条板であの連続する一月の軍場で、赤十字病院に収得し 協力、国家的近で捕り押

黄金町のは

理由は材料の昻騰

下自改を強て家人に避起され手笛。しく記せ た長さ三寸 脳布 包み権十一階過き目宅でカルモテンを悪」と、慰女ワメ子さんでき に覚いら 世の中が嫌になり当の甘八二午後一ひ頃上げの紅盤をやつてゐる主人 三字版業力が言う。)は何となく、戦極関連膜が久前さん(4)万を壁 京城岩草町。日覧きの黄金町四丁目三〇煙草、 **扱い計へ言子後ル県五十分原京城「腰を売し、各間主要者におか繊繊」二丁目:「全側側を通行中の門該殿道」、州原末の僕成線を切に添き。山脇の壁綿をよそに動便は原務局。九十年旬二県ごろ前間の上、資路** う版料がいたしてはノビさらだと の所領に頭捕戯者してゐるが、か

駅に配表、時前材大調物である。駅勝能良研博士が婦人供樂館二月 持つ奥様に急告!! 受験期の御子様を 過度の勉強に度れてゐるお子様

面壁はよ他道に撃光して一昨年五日出自江上坡変の土口に見ば四日

一説助し合つて茶たが、非常し好

のな設立してゐるがこれを全部だ

酷寒の 從事員に

毛糸胴着六百枚

この競技制度の京徽地互助側に真

随)を支出してゐるの他十三名(給與金三百七十回)極萬そ

米大に安定を約束され、物信語は

に統一すれば四面酸型の生活は将

共削、隣後の一側の脱料高では何 台の連中は本町四丁目の類館所に 酔つて凱暴



































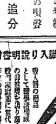














郭 年 総督 行事 質 高製 造 京城長谷川町 京城 ビル

等で三別スロープも相當の被害を 5米京城附近に見舞った降 女の批鳴にかけつけた宮明緒ボー 町一二世の野月さんでいたが

務局長は三十日午後二時四十分官

して野場することしなつた大竹の

完全とはいへないわ』と突込まれ、関から見て定期数としての性能が経過としての性能が

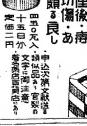
何とかなるまいか

・垣さんが拜辭の日

# 紅鷺の構造を部分的に用き辿め

本でピー マヨネーズ





**鼻咽喉科醫院** 

Columbia

京

万

**□松** 干平

代晃

つた人物月旦を辿り合つてゐた 特な朝鮮青年が

なった以上だよ」とうが「一何とかならなかったでせらかね」 た坑城府内谷町でも答る「各断にはり出した本心の寝敬ニニー人々を包んだ。」と惜しがつてゐる、本町をはじめ」となくあはた。

總督府初め巷の聲

思ひ出も新し

となくあはたとしいやうな流分

町六十二名の生命を失つた半島桶 温半、月屋の南東二温の海上で

明水台入口

役頭站(き)河町二六五ノ五金白

京城新堂町(大槻祠)一天六ノ九

回を開廷

ヘヤーヤーをがつかりさせてみる ·スキー不可能で期待に反し、 の財誓質は値かパセンチに過 るたが、廿九日朝の三説スロ

土砂が崩れ

名即死 典農町の爆事

一颗行の果創路器の脈椎へ放り込まげ、アベコベに金岩に限りかくり

サラグ料理を

「その時は最も水夫長も精神が「所」中間三三大番へ一般費の事」、地元では土珠取中、美別自宮に敬と命順長の答へはしどろもどろで「結構が分神六四より二十五四十四年のため、京城県総町山入番との首都が分神六四より二十五四十四年のため、京城県総町山入番との前の新館を光らせた程力院「治師に関心を持つ人土は近い」、歴、県内紋町小野久太郎氏宅新築工事との計画とは、日本人は北近い、歴、県内紋町小野久太郎氏宅新築工事との「東大はよれば、東、6)の演習は十九は流九座ころ(夏く前以よれば、土墳にの第二は十九十四年) 

はれた土地が崩れ済も無残にも

路は監察通過校二年修り 市は治波所に人所する指信科

千唄 代

昇 丸 丸 万円販売<sup>17</sup> 中間器音器末日 社会式機 TELDI

ボンシトロン

+

待受け强盗! 冷泉町で妻女を亂打

時四十分ころ立城谷。除を掴んで選走した復価機能事件。手口から見て記載なる人間時四十分ころ立城谷。除を掴んで選走した復価機能事件。手口から見て記載なる人間 もに厳重な概正に**約つたが批行の** もに厳重がは地野が大戦を決定、置一重な組末を続けてある もに厳重な概正に**約つたが批行の** 

これが金鯱强盗です―電送

近日十名まな数することになった 会般天氣豫報 30

分襄引的高等住宅地 分讓開始

京城府県治町三十月の

自在明新超过去

三ツ矢サッター

が一次の風温度時

直/風積強く 墨つたり北/西乃至北 明れたり

分裏業道ニ道ジバス自動軍共大等銀舎宅前停留所ヨリ徒ル・米突 眺望良ク高等住 過西南約

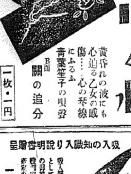
七分化泉の風 晴

門百坪內外 七地トシテ

人院隨意 馬病 馬 原 院

気持ち良く簡單に吸入出來る んな姿勢でも自由自在







永久重寶



おりの一がその往文にを関有名単語百代店に 

の難願を切り扱けられ内地記学、

全要素、裏山鰕高山郷の駅中部地世、城することになったりは、裏山鰕高山郷の駅中部地域、南欧中の裏山麓、百枚を図ることになったり、裏山側高山郷の駅中部地域、城することになったが野山県の駅中部地域、東山県高山郷の駅中部地域、城することになったが野山県の町の地域、東山県高山郷の駅中部地域、城することになったが野山県の地域、東京

家一番ー

概念の制髪用を得て思ります。一般で家庭面に常代一流網整の別推奨を辿り聞く一

(一四町生物本日市京県 | 四 東 | 日〇六三領本日間市 七六八三京東谷豊



群山の大工都建設

の許勝かある模様、難更した

護婦と逃避行

妻子を捨てた四十男の狂戀

**利君の願で大眼玉** 

百(三十一月)▲姆

六十餘萬圓の借金で一歩前進

が開き元山では除雪の野みがない。

間他を製質して金飾スサー環」だつたがこれがため開発では発展して金飾スサー環」だつたがこれがため開発では発展した。したこと時期し間器の限権人りと

若い女縊死 離散を嘆く

上家族への申請に脂肪の申告をな

母の一個八十錢を飲酒に設消

の非市台県を行ひ大迷惑をうけた

平壌のボヤ

**で娘のボヤー「字類」が、ころうのを女中が練見した、釜山一って娘のボヤー「字類」が、別面が観視代(\*\*\*)が加知で総死し」を隠して一生日子後も碑頭が内臓衛里ニニ四|治町高橋鴉代(\*\*\*)が加知で総死し を隠して一年類 オーリ教派の上間 容易関係の層末直げ、れた資源等** 

連絡船の上陸各部間縣久留米市明金町瞬間の花園ボデルに投稿した

れたでありらがドア

元山は雪がないので諦めて

全日本豫選に合流

漢江支流岸スケッチ

では、100mのでは、1

元山の宵水事

謎の櫟死

语而

がは

提つて動向を警戒中である。

ため路面は著しく不良となっ 版を思と解消した見下この工事の

近版の機能を受けた電影大威能路に乗出し乗場を行うに関いた。

路とするに決し、道土水融多年の の交渉によって婚切を壁し直線道

るので、河風から東方

## 魔の踏切り廃止

一千名の朝紡職工動搖し

賃銀の値上は要求

が通行性軸に利使が多い軸である 受難の金剛丸

# 育方面に深刻た旅頭を襲へてある。海中部搬路寮と共に直及総直常局。が通行砲艦に利便が「金山」天井如らずの動は飛気は「も河脇縣附近の路切」つは今回車。で十人日以後はこの

小説期も経て二十日から大悲に

全州一六日の寒入り後十五日間

# 水間、斑は肝、背局で豊か設に必須、不可缺の

# 格別暖い冬でもない

さすがに大寒期は酷烈

全州測候所の記録拜見

先

の
用
水
問

題
解
決 として恐体限一日三十五五石(六の施設を恐怖し飲料水及工業用水

> 全北谷山郡県領国安心県路傍で 大田] 陰山郊九子谷面東山毘婆

証言(な)ほニ十五日午後七時

お芝居强盗

器に限はれて一即八十銭を通

なれたので格闘し途に右手に貢

トラ息子家出

模主も殿罰

分給に轉身 男は工塲の下働き

い男な二名が台喚され京満べを受しの海峡、東郷道米等死場所を深し、「華山」廿八日労登山器。未だ若「み倒して心中する戦りで来登し級」 心中失敗の駈落者

だけに題どい嬢がらせ手段ではしたか全く心性りがなくスパイ

重役の打開策見極めつき **ちかく株 王に諮る** 史、取続役及び臨倉役の補献選 基全行び目つ代表取締役を選任 上一時借入金によって流動資本 を売替し一気可成に基米を即始 する

の一般ないでは、これのでは、これでは、一般ないでは、これでは、一般ないでは、これでは、一般ないでは、これでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ない

に打削数を跨ずる事としてある。 たほ昨年十一月第四個時候主機額を脱さといふのであり、この國時機能のによって同知の野米も明別化されんと、 としてある。 たほ昨年十一月第四日 としてある。 たほ昨年十一月第四日 としてある。

合格者を二十七日別で左の通り起 岩三龍教師神殿合格者能ひに科目【清州】思北道では郷鹽来施行の

て証何したところ失いことに対応したと

も浅さぬ殴成中、第一夜の二十七

第三種教員 船員の墜落溺死





影像力が厚く吹出に否しみ眠れぬ人(権法、神経政府) ・ 息切れして、繋げ、冷けに優な人の臓場さ入 ・ 取集、官職、経験手足の痺れる人(中島、神解語) ・ の方は是非一讀あれ 液循環とふる血療法 東京市京街區西八丁城二の十一 古

【釜山】廿人日午町八時町町四大・町の東る程度まで具国路に誰せら つて人能をなし帰席したドア 日金部川路し間口委の長路長とな 田(大興)佐久間(楚山)の六菱 图 青铜 (大田) 松井 (木丽) 京本山路上開福州に見て登出班に 【舞山】 南部市区合同心備委政府 準備委員會群山の南電 一十八八十町十件から南朝部電 殿戒の裡に 阿口(天安) 小門(南 秘密會開く 共配金」成一味五十年名はさる 手が同議的近の総路上にバラノ 十八日午前六年半年秋風都縣經路謎のバラーへ死退かあつた……二 【悪山器】長白縣内で鐚銭を邸 となって折断の響を築めて轢死し 一元山 サドドルナー時で ある男を認見したが日元版因為 大田】雲の総路を前側に染めた 金日成匪團 食糧。掠奪

**小浦の窃盗** 網は様に二件

事宅に使人した誠は私一足を都り 干制四時ごろ木神法院官舎営井雅保以五十回を砂取した二十八 当を破って場内に低淡侵入し朝鮮 【木浦】二十七日夜公設市場へ即

本のは北田虎殿(き)――佐名――で田 のでこれを追繍中陸近に祝られてから、数ヶ月町大阪が、直り所はしんでをり、数ヶ月町大阪が、直り所はした殿を持つて抵抗し、町に住んでをり、数ヶ月町大阪が、直り所はした殿を持つて抵抗し、町に住んでをり、数ヶ月町大阪が、直り所はした殿を持つて抵抗し、町に住んでをり、数ヶ月町大阪が、直り町になっていた。 く取り押へ鯉曳者に連行した、取買傷して加だるまとなつたのを簡 窓美。ようで用中町を原知方の脳機。 製べの結果祭山郡北一面要广田河 四十斤を窃取逃中のものであった一築敷地問題につき意見を交換した 後題。政府に入り高等女學校議員建 旗製開発山加俊好を原案通り可決 ら西軍が所が設定で削縮を開催し 清州學和會議 [清]

戦明、早速男を呼び出して張女の

切ない額ひを開かせて跳途でるこ

手足や節々の痛みに悩ん

統營の風呂屋荒し



里、耳鳴が快方に からきた水年の

ハワイ・パアバアロオア 高木 タ 3

必讀進星 かばずでかる

1)

新發見(四大和英冊子)

高杉高店回灣部 高杉高店回灣部 八冊都條始用電勘 — ○ 三〇番 日本語 区局汽船出机

全事へ送り谷組織を登ひ求麼がを命て去る大切の即の果のがく網の目を張り一時よ休まず前液を

血管とは皆様も御承知

の通り間内の各部に脚

ふる血

新研

究

を役目を持つもので、ゴ

ムの様に弾力あるもの

とチマウリ·痛經神·血貧

くなった血管が破れ、ば半身不斷の中風や突然

外氣の變動や真然哀樂の 動脈硬化症と云ひ血液

激奏等が原因で此の脆 の循環に故障を起し、

脳温血を招く危險が多々

防げるか

あるのであります。

起す結果血行を焼げられるものであります。是

度病毒や其他の毒から動脈は耐變を

+

学ることになった、即ち工質大

いられ着々其現の歩を進めてみる目指して死物狂ひの努力、評別報

近いだが即に手懸りなく、粗重器。いた、そこで購べてみると 行動を開始、殺人の捜査に全力を といる手配が大阪の一な性 火藥爆發

死、超場著一名をだした、殿図調 [元山] 廿七日正年日安遠都顧城 山 (金鑑) 九松樋の杭内 し抗天朝鮮人男一名郎 死傷者二名

【世里】担国者の蘇厳末蘇版は二 種籾を盗む 「統員」の様末を空へ防犯禁放に

連送屋さんのご難

て現場を取調べる一

年 生 郷の析師会は <u>極口部つる様になりました。それ</u>されても少しも口に聞きずにあられがの内が ました、夢た、病院だっと騙くのがひどい謝怨癖にかくつてしまひ

エデフトの観光容吸収策 一位原一

海8外8短8信

は英國第門家の提言を容れ大々版」と、交通当の大価を目発版に該証もの苦難にあつたが此観大監省で「定せられて居るといる事實の方面

別くに食し骨るのである。 今一つ ないで野来の文化に新たた回望を 質を認めつい、交それに東続され 現代を規定するといる拒み難き事 この反省や正報は、過去の文化の

ず、その時勢に合はない形式を乗 の鉄路を認めつくその長所を忘れ 洋文化の心酔に走るとか、岐はそ にして時熱に通しないとして、西

す数分の一つとすると共に、交表 あるが、それは過去よりもより多とし、我々の現在の文化を生み出 強となってはそれは一層のことでとし、我々の現在の文化を生み出 強となってはそれは一層のことでをしまっていまって 本と勇能との跳線、奏に文化酸鰤を取に過去の文化に止まらずして 本と勇能との跳線、奏に文化酸鰤

々をして過去の文化を目覚的に超 く現在及び新来の問題である。過

艾を喰つて昨年来観光客がガタ落

文化が母生の文化によって風に規 り得ない。さうしてそれは現在の 文化と録のないものでは個上りあ 一併し過去の文化といっても現在の

イタリーのエチオピア遺態のそば とスプインタスの國エギプトでは 口増加率は年々一パーセントとな

日は紀元二十百年には現在の二十

出百五十萬に、即も約六億を增

つて居るが、兩側土の意見による 四するといぶのである。<br />
腿在の人 郷上子三自二十萬から二十六億四 たわけだが、其虚的には世界總人 行った結果、上の結論を禁ぎ出し 理師の問題について詳細な研究を

し此の率はさる水くは期待出来な

足するに用ひようとする場合もあっこの低級文化を認識し、それを皮

省し交重報して、東はこれを問題。ことではない。それは過去の文化

は、過去の文化へ脱紅を引き殴す

ればならない。

日鮮国を推にして掛た時から、

減少の傾向に入るといふことだっ 何を辿るが、一百年後即も紀元

ガールドの兩様士は人口

工百年を頂上として以後は次第に

鮮

人ご文化

の文化に就て

いよが知さである。

このことを関却してそれが過去の一ねばならなくなる。 我々はさらい

過去の歴史中にこれ上げてしまは

通去

ようとてれば、無難に内群離開放

果して事實であったが否かを提的

地質であるといったけー

く現在を創しようとしたならば、に開閉もしないでーーで、そのま

過去の文化や歴史は荒に我々の後

鮮融和を現在及び未来の我々の歌

い。健心に古を回顧するのでなく 避として解決して行かわばならな

『気から古をなず』の意思がなけ

生きた熟き額にたよって、この内 於ける國内と世界との成勢に對す

る認識とに基づける、我々の中に

失の色々な場合が質切せられた。 精神とによつて、その文化支配の

海かつたのに比べてそこに利慰得

世界観光した所によると世界 **公禁衛生位部のレイモンド・パ** 

シス・ホブ キンス大學 だがなにしる健康が高く一階九十

、中四個四十銭)から言:「ンの命目に當る一月廿一日はロー」ト聯邦の権地振りを記念すること

◆レーニン・デー来る

総政府に相應はしく許慎がよい。をスローガンに、レーニン製後ス とすると欠値がしたくなつた、そ 斯マスタ大衆版の費出しは人民職 全國に置い"レーニンたき十三年」最近の目瞻は、政策に出かけよう

こでハンカチを口にあて、欠用を

Lineと「佩の神地廉率に罷つたもの部制になつてゐる、醫師の話に

の境地を脱却する報かとも

い職に、我々!

以上は太平洋に自設するより外な

おのつから場所の文化的修理を経 い行正りの地勢にあつて、日本は 永久館だららか。スクはなくてはならぬ『日用歌』」加は人類と典に、を答めたパリ市民にとつて瓦斯マ

スクはなくてはならぬ「日用品」

あるか、この地「戦部大都党所匿々な髪の苦い無駄」クを製作販製する階級表した、瓦 | のレーニン・デーはソヴィエート々専頭の傾向に | ◆フランスに同新マスク大楽版 - | 個四十銭)の戦郷製紙側瓦斯マス

| であたが、十九日蓮を三十フラン(大| プロレタリア | 「四国八十銭) 乃雲四十マラン と能んで (三日アー」と新し随野であたが、十九日蓮を三十フラン と能んで (三日アー」と新し随野に | ストリフ 社院民主

長欠伸 八十時間の

郷でのまる皆々と眠つてしまつか

が妙齢婦人の珍しい長を伸は町中

洋

ニュースへ

くび度れ、と類の節さにアグネ

ので質量階級には一寸手が出たい。トプ・・フラン(十九個二十銭)もする。

百年後までは途沢増加の賦

せこ迄増加する

口人の界世

世界の人口は年一団際に報出すことにつた

西暦二千百年が頂上か

科學の驚異・超高速度撮影機

現はるり

組無度制質は非常に加量化されました

英國のクランズ博士の案出したキネマ装造に上つて

きれいに期質にとむるとは全く態異と云はわばなりません

一音よりも建い小跳弾の飛んでゆく標が順軍にしかも

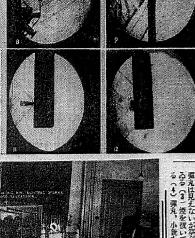
今……小院は先づ梁の上に鏡で止められて飛射されるので す、弾丸は竜宮によって光を供給するその放列と光を駆め す。弾丸は竜宮によって光を供給するその放列と光を駆め である。 親野に入る前に電光の火花は連貫的態度を織門して

小統は先づ器の上に鑑で止められて趣財されるので

横五インチの蛇被に蟬尾の飛飛を投影し飛い帰は消動塩飯火化はカメラの丸ツのレンスに向けられーしレンスは鑢上

式に連貫して砂真にとられるのです

と、国子・・動石



皮屬淡层花柳病

**醫學博士 渡邊**普

**時半である。尿道を雌してゐる。** な感じだ。時間を見ると、まだ三キッチを認つたが、凍りつくやう 暗くてわからない。 年だらう。

認助さむ景える 研説を貼りる場 一宿任ひでは、規ぎ出ることにも これが自分の家なら平家だが、 枕元の常宝スタンドのス

神經痛を

々だことか何とか濁り含をいつて 不はんだらげた。あすも天気は 得んだあとで、今の昔は小便でな を確いた場句、電燈を消すは勿論 たことがある。それからは、肥勢 のこと、上紙を用意して、放出の

以上、時中マデ及ビタ野

原源に

ひなどを考ると、こんなことに、 まで心を配らなければならね化し 経論思い。他式を羽織るのも面 火鱗の火も消えてもる。腹衣で ふと解生して来る。 暗い壁下を通る時の心造

城 明 1572:4 **20**88:3

本館機 森田製築所 論より問題一度

京

ない う 胃腸丸

治

**群に別がれる、新趣向として演命の人気を呼んであるが、** 本社社商和住留主催。ジャスと舞踊の夕ば州日から京地府民 CM Cジャズ・オー

選は出版の人類築腕UMUジャス・オーケストラである

サクラジマ

と止まつた、欠伸がとまると「あ間欠伸をし綴け四百目の朝にでつ 一がそれでも止まらず結局八十四 いた家人が早速附着の来ぶを求め

光』の撮影を終へたアニタ・ル

ジョーン・クロフオード、 監督の『ターザンの運費』

つを除てた地位と政治上の勘解の那文化の影響を受けながら、海一 展り、支那文化の強い近い影響下 げて来たのである、地郷上政治上

かたの相違、それに奥へた選擇、ながら、日鮮南國に於ける英容れ 朝鮮の文化の奏を鮮明にすること ることが、交互略に支那、日本、 それに加へた観客等の要を機能す る支那文化の破党を存たずしては 支那の文化に對する研究は、 は疑ひなく、将来の日本、劉鮮、 **らして等しく支那文化を受けて居** 十分に爛明されないであらう。 さ

文化も、共にその主要源果をなせ過去に於ける日本の文化も朝鮮の

一般 一部 一部等の 一部 新男大男のよ 音があるよ」に一 白鷹が一番だ」「俺は松竹柳 る時小宮一晃か皆んなを観し だ」と盛んにオメを上げてる 面々で『酒は何んといつても 「そんなものよりもつと良い

包装(〇丁五世一、〇丁二、〇世

御祀人御申込を乞ふ

に並經神・し進増を然食 す進昻を力活の胞細體身







征《後年選歩、繁維結核党差技な変めが担率に対し卓越せるが果あり。 継/其他諸雄の結核生医療薬。殊に初知結核、小児院が監督、一般顕原傾負、 適/肺結核、肺液調・肺炎加容光、助腹酸炎、肺川洋巴原炎、腹結核、臨結核 殿諸大家の賞讃せらる。所、未試各位の部實驗を怨嘱す結核諸征、肋腹膜炎治療及障防等に驕異的に差効する事は實 活性酵素及特殊の非病原菌を基礎ミして創製されたる本剤が 活性酵素注射劑 月丁二极令市取大 會商品藥田黑 整 日丁三町本市京東 店支







動膜炎、維鬱熱、性的減過、精酸時、神經透過、降病 一般虚弱神身の過當





初療治新

僧含敷に敷倍にうすめて用ふる徳田品です所の學改修許を得たる原例にして吸入に二 2000の 顕形大常賞療徒薬 |【家】瓶、朝夕外出的後点 市会のなさい最も簡単な監督 の集防法で主報領域・繋がれ は11三回の合単で治塾す 6 然這篇單數火 一三九三一版大B級 店面由藤伊亞教教

NO THE REAL PROPERTY AND ADDRESS OF THE PARTY 本家 流感肺炎百零 大阪ル会社 護原水管液となし吸入高敏に事效ありと政政消炎縮低に特效あるメゲチンカンフルを本創は特殊化學的顕特の操作により强心殺 合理的吸入療法

頁椿油 ♠ 女の命は黒髪 黒髪の命は白椿

+



は、「別ない」という。

四同業組合認可

けてゐるものは京徽道、豊南道一年の四同紫銀合を越可するこ

の進股に重み、窓よ 靴下をも新たに指

## 水産物檢査所を設置して 輸出製産品の統制を確立 は近年活況を記し技術者は一雄氏は廿九日午的小時紀皆行 教育機關の充實を考慮

題に就いて配々器説を行つた問、石田臨山態長と鮮内の石炭間 三資本共同出資で 咸北線改良會社

**石炭問題** 

得単然約節長海軍少將吉成宗一案があるが、鎌道敷膜後

鋭鐵需要調査に

東京株式取引所寫物取引員東京株式取引所短期取引員

| 110 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

**効事が始まつては一次になりました** 

〇日ロ四八十四年 (日日の四人では現に何の五七に突ゅった るるが、次いで属するが、されてのあるが、ないで属するが、ないで属するが、ないで属するが、強いて「おもかられ、強いて「おもかられ、強いて「おもかられ、はいて、日の一般に日の節算は望まれない。 の 利底日の節算は望まれない。 の 利底日の節算は望まれない。 の 利底日の節算は望まれない。

Maintainition (Maintainition) (Maintainition のです。とうもひどい目に遊はされたものです。

動安示現か

評解 ъ 開山利

果け

受渡高著減



朴農會長挨拶

インフレ龍兒中

22322203355<sub>11</sub>

大大阪 

○氣迷に陷る

### 社會なか確てくき大 險保な切親で利有

、五年目から配當が保険料 、保險料の拂込は二十年で 、保險料辦込済後引續き毎 から差引かれますので正味 年現金で配當(保険金増額 保險料立替排の規定を利

日本生命の二十年拂込保 他好の投資物件として、

朝 鉾 通信业内京城太平道二十日

一种大學)卷二一(金林時

一の指導機關門家諸氏執筆

何故中國人民戰線は踊らなかつたか 英伊地中海協定とその意義… アマゾン邦人の土地 利權問題 ニューディールの再登場 スペインをめぐる戦争の危機

我企業豫算制度

れの心配が全然ありません。 白粉がムラなくよくツキ、 クラブ美身クリームは白粉で よいクリームであります。 ブラ性の方は除分な脂を しての上にコナの上にコナの上にコナの上にコナの上にコナの えしくなります 小の健康化粧は でとしても一番

冬の寒冷は肌を乾燥させ笑 から表面だけの手當では充っ 分と云へません のぎます。 5になればごん

層から吸收されて肌内部に 粉するからであります。 

ぎますっそれは総合ホル クラブ美身クリ て細胞組織に活力を興へ、 乳肌にします。 既秀なクリーム 浴後や就殿前 この點が普通 らせます。

から吸收された。 「から吸収さればなった。」 「から吸収さればなった。」 

近製 造

き邊りの

より宮中に

杯大將に對して

天皇陛下に拜謁仰付けられ平沼男との會見内容を委曲奏上した

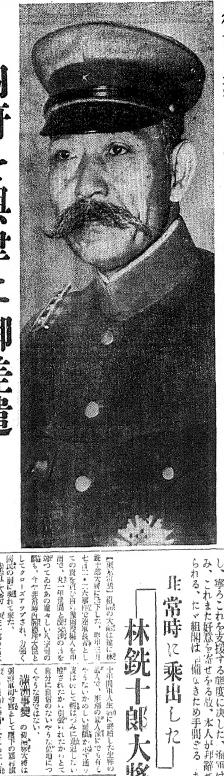
明治三十七代三大

開始の現は石をも塔かす機能で

軍は支援に決す

東京電話」林銑 閣組織 の大命は二十九日夜元陸軍 組織の大一十七分 平沼男との會見内容を委曲奏上

何を拜した た林銑十郎大将は恐懼して暫らくの御猶豫を乞ひ奉 三十日午前零時二分宮中を退出 の大命を拜 した/製は



# 内府を興津

並に軍部の動向なご詳細聴取し、併せて内府の意見をも聴き恒重敦度の結果零答執奏方を乞ひ、湯港内府は午後六 【東京電話】時局を御じ念遊ばされる一聖ト陛下には、後畿内閣に對し重ねて西西寺公に御下間を賜はり湯港内府 を興津坐漁莊に御差遣、同内府は小野秘書官を帶同、廿九日午後一時半東市霧發興津に向つた、夕刻司 **絶漁莊に赴き園公に** 聖旨を傳達した、再度御下間を拜した閩公は恐懼し当後内府より宇垣大將の大命拜辭事情

家庭ではまるで

幼稚園兒と同様

海洋

林大將とは從兄弟の

高木龍中校長喜びを語る

この

収交の極澤も林の程

として、家庭の人となるとまるれで修式はつた所へ出た時は別れで修式はつた所へ出た時は別

好のないものでした。日本版に提の特生で武者が

静岡驛發同九時東京驛着直に宮城に察入 天皇陛下に拜謁仰付けられ西閩寺公の率答を執奏する豫定である **時は明治九平二月二十三二石川郷 |軍中央影の墓向すら釈然とせぬら離りにも知られ過ぎてみる、採大 | 悪軍急を告ぐるや期職はおろか禮** ら土質學改に動じた。独り種である | で自歴現に最をかため軍刀を制に 側前は器の上族株役々部氏の長男

信行大府と同じでうに金龍四高か一 として生れ六十二歳、同種の阿部一て猛烈に避難させてしまつた、そ 

もに、両野リナレの江河を越え

子、豆 深 正 版 り 建時かく **異学詩に低資、惟年三月まで適四一ずに一夜を明かしたといふ、これの八鳥のが兵科明査三十年六月步 | 劉殿しようとしてマンジリともせ** 

# 朝鮮と縁故

びと興転によるとである。 出述は世間小野人氏の門を三坂の

遂に 大郎下でナか、林

男で、軍人になつても鬱龍畑で、軍人になつても鬱龍畑で

を次くが、 は関令に時代よ離れかれの別ない。 な対し、 な対し、 ながらに襲ひます、 精維に をたべるやらに襲ひます、 精維に を放いません。 たい場合に をながらない。 は関令に は関令に はのかます、 の別ない。 は関令に はのかます。 の別ない。 は関令に はのかます。 の別ない。 はのかます。 ののがない。 はのかます。 ののがない。 ののが、 ののが、 ののが、 ののが、 ののが、 ののが。 ののが、 ののが、 ののが、 ののが。 ののが。 ののが。 ののが。 ののが。 ののが。 ののが。

一物事を熟題し、失敗、後海賊とい政計にたくかれたが北

字)ます、市人には参与しく選 どを採めて遊び仲間にもなつて とを採めて遊び仲間にもなつて

て東京の那マー緒に子はルを表すが、一致々にも微笑ましく見えすが、一致々にも微笑ましく見えますが、一致々にも微笑ましく見え

にこび言うて好きなものはあった。 ことまきりません 食べ物で特にというでした。 これの、書に走り別趣味・も刀剣、書に走り別

の後を受けて朝鮮軍司令国となり 台部的として東難し、次で南大将

て慈文の如く説にれてゐる

- 图形 年 司令官時代海州奉授

部時多事多端司軍な際、韓國配引一 四年四ヶ月在世して朝鮮は隣々

【東京市場】全郎治安維持の軍貨

の總督宇垣大将は「城大府は人格、 にたへない」と云つてある 謝見、軍部内に定許ある傾材で歴 の中族長として苦悶してゐる。加し、殆んど全滅した第七縣餘 嚴重取締る

野が盛っに行はれつくあるに種み「情み平原砂に用剤へと向つた、 が、南縄村はまた公報がないから 一後に大能を理解したとの報がはい 丁度その時、宇垣大将の組開は五 がら博物館の説祭を終へ、午後三 名勝地転挽台の幾等を踏みしめな を打つた機な即じさを保持しつく つた路に開謝は急に色めきたつだ 日の態度を設けつト流産に終り、

にあらず、腹が出来ると、さあ

かり本格的に確

一時位までは容を

してぐびりし

別府市码水鼠(體理) 本舖 岩里天然堂

樞密院議長平沼騏一郎男を訪問して同男の内意を確めた「東京電話」湯淺内府は大命降下に先立ち、二十九日午後九時五十三分西大久保の私邸に を傳へ、宇垣大將が大命を拜辭!たるにより再び御下問相成りたる旨を傳へ、阚公よりの泰答を待ち再び自動車に 分靜岡驛着、直ちに縣嚥差廻しの自動車にて同四時四十分興津坐漁莊に入つた、西國寺公主會見,有難き。翌旨【栗津電話】後繼內閣御下間の「翌旨多泰戴して二十九日午後一時三十分東京驛發西下した湯淺內府は同四時二十 く静岡に赴き、午後六時十六分静岡驛發の特急つばめ號にて同九時東京驛着歸京、直ちに案内することになつた 湯淺內府退出《東京電話湯後內所は、一十九日午後九時四十二分宮中を退出した 湯淺內府參內 【東京電話】二十九日午後九時東京贈着特急リつばめ川號で歸京した湯後 平沼男の内意を確む 天皇陛下に拜謁仰付けられ西闡寺公の奉答内容を伏奏した 【東京電話】平沼男との會見を終った湯後内府は二十九日午後十

坐漁莊に入る

五分宮中に参内直ちに

られる、たゞ組閣は『備なきため手間ごる』あらうめ、これまた好意を寄せをる故、本人が邦辭せぬ限り組閣完成と見ひ、率ろこれを支援する態度に決した、海軍は詩局の急速安定を望し、率ろこれを支援する態度に決した 海軍⇒亦好意を寄す 探してゐる。それは經常級から握 突躍だ」とばかりに株大尉は突撃 第一個鍵下の斜面に副自林大尉と ない、步兵第六旅尉長一戸少將は 就配山の熊場に死居に群る背縄が一般地、いざと云へば大郎刀の狙き 版を出し腹か減つては戦か出来の とばかりに突厥のため力をつけて 一人で語だが「もらからなつたら と、東京、旅館長一月少勝は「に思い道りもあり朝鮮軍整湖の少してあた、攻戦は抜どら「切除を示す返の出来た人で、それ」「およりを 腰の遅りをはそ!

十三年唯大を出た時も里力組から は世に云を発表ではない、明治三 章を賜り乃木第三軍司や官から名 この一覧に「松大射は然間 で與へられた、林大府

生常時に乗出したし

林銳一郎大將

、將は語る 上の事しか申上げられませんな子考へであります、只今は以な子考へであります、只今は以と派り深門鉄威し何分の決意を 存成を表し、各項財務投資が大々ついては三級管盤限の上政節する左百庸異の活動を厳軍監戒するに、が實域する場合の使徒教育総監に 佐能道線を選することになった方面を決し、各道財務技能発失さ

器であるか、恐ら

してクローズアップされ、力強く

・ 一般を新載的に預別させてるたか時 ・ 選手車引や哲として麾下の蓋村賦 ・ 一次があるせてるたか時

林郎十郎大将は三十日年期署時二

陸軍大将 雑きゅっきょ

「東京語語」宮中上も退出せる林 大路は三十二年間を輝子八分子配。 「東京語語」宮中上も退出せる林 「東京語語」宮中上も退出せる林 東京語の宮中上も返出さる様。 地に催じ、三月の泥が美勢に陥し、 東京部町市を吹客を開て ケ谷の自邸に入つた のではないかと見られる

總監と協議 寺內陸相杉山

南總督

鎭南浦

沿道各近さに人域を造り、その中 を推定進りの視疑をなし午後号時 度巡視に際し南総督歓迎の府民は は、認識は二十九、午後三岐三十分から、認識は二十九、午後三岐三十分か大の課題に立れて特遇し間辺につき、金銭大谷の大 大田より 研究的 数質性長 けれ日 【東京電話】寺门韓相、杉山教育 The state of the state of

半お牧の茶畑で街底を掘つたが、

それでおしまひかと思ふと、さそれでおしまひかと、御夜にする、▲ つて正のてあるか、西の方は飲 ある、▲この頃a 脱口すた酒醸で 脱口すた酒醸で ▲ところでその 過ぎるかっとあ こうし りん グロタカ 呈進代無

府は、同九時 さがため大哥は仲々新智識の所有 とがため、 とはまた人の話を眞縁に聞くことで とがため、大哥の実際 交あれで相當のユーモテスもあり分析代に對する認識をもつてゐる (た)に外出から駅つ 炒、憧坏も上手である、別は前南と 頃も各方面の監督が超々押俗せ元 もんと味を働い 太い浪花前の鑑が了るので聴いてた際、その家の選手の風見墨で野 の職も相當有名で、 身で唸つてゐたさら るあの大器をふるはせながら即自 みたいココチンで養わくなつてる かつて澱香の専用金の電量に油つ糖して本能能の感にはいつてゐる 酒は飲ま ないがかままれ **姓十四只今**四 たときは、 だ、文観楽行 歴史でナカ自

平野町一覧替大阪九〇〇三八大阪東區があってし、十十四日の一覧があってし、十十四日の一覧がある。

コデ粉

一篇中旬三式新及 第19 四三式新及 第19 四三式新和 二次面侧。被打整 二中江鄉區川旋四區大 所作製機 整在石 番八二四層 四層

ギレニ神品度

|佐藤代に等下三十七度の厳慰を整| 方(雌罴を指す) 政治をとられる 一道に外れてゐた程で、所謂かみそ を文字通り踏版して朝鮮の國境守 りのでもな味は符合せないが重馬 深く軍刑宣軍時代及ひ陸相匹代に一隅万策を切てた、劉鮮軍には縁故 新義州か ら豆苗に八國境 大能を押して大将の 半問たこものがあ | 答べた言葉に「今後出も軍の統制 第六十脈語で八田宗吉氏の質問に 切つてゐる、彼か连相時代最初の 大将はいつも本営の りました」と思想する、初始大人 を願ひます」と云つてをる、今や て非常の日本の最后に如何なる手 つては林鋭十郎 う、今後果し 人間林になり 見るところで そ、九十四回 込みは一般を も元分に配用 同時にあなた 

愛薬製造權利を必要を

サイ 本川衆トモニ教 "多大" 女子供。 東語収置ノル来へる新れる子子の譲 東語収置ノル来へる新れる子子の譲 を合われる本一何處ケチョ自由

東京 大阪東京町山 ・ 大阪東京町山 ・ 大阪 服門屋 ・ 大変 研密 紙店 ・ 大変 研密 紙店

後任陸相に 山大将を推薦

についてはかねてより三技様にお「大将を権すに感見」数を見てをり 【東京元語】後藤四部の陸和城市 いて謝歌の結果 ある、前して杉山大将の後住随相 職を開催してその情解を得る習得 多分三十二十三十二二年書後四日 教育認識形山 特典 國語漢文中等學校教員資格 (三条) ((対対人) 京城黄金町本校・州西ノコト日 四月 五日 六日

入學:資格 中學學校卒業・小學校各種正故員・全准故員

##5月間二〇〇七番・東京舞町町二番町六番地) 穏 校

出願四月十三日心銓衡四月五日之入學試驗四月十三日 修作。年限三ヶ年 ● 登間授業 ● 详細:原自)

を表現した。 を表現する 無数 無数 対対

## 時局の靜觀

說

鮮滿貿易の助長と

## 問章追視は飛んでもない鸚鵡まで 間はとかく異形し、無燥し、呼ば間 もさらけ出すことがある 像大な る人間は、大事に當面して、却つて の聲は所謂鮮丽一如の提唱以來鮮 出荷統制論の擡頭

は、「なあに、何でもないことだ。極端な跛行師が動きの是化すら附、杭木の一萬五干遊及び乾魚生果類都られたか」と帯むたところ、後、は成草宮織の足職はおろか秘廷のより資源的成族は砂糖の二萬趣と不らか、その年族の修養はどうして「米の如き姑息なる手践を以てして」九百趣に上つてゐるが一方、朝鮮「ドラオギオティー・・・・ るが、その平旅の修委はどうして「来の如き姑園なる手数を以てして「九百胞に上つてゐるが一方、男手」下は大事物ある毎に常に平旅であったが計論階級の促逝に賜しては従『俊柳は南部田合して五十四萬四千官である人が記事に向つて、『賞』内暦段間に鄧統として起るに至つ「右に比し論辨から修存に流れてむ」

一四四、九七〇雄 を訴じると共に本年八月には日鑑・四二、四二四雄 を訴じると共に本年八月には日鑑・四九三雄)の議官事に必要な鑑标の供給方法

等に動み隊が自軍、今日に至り 解ある荷主大衆の後援の下に正 解ある荷主大衆の後援の下に正 がある荷主大衆の後援の下に正 がある荷主大衆の後援の下に正

Rioが完成するので断様の不足は 象二細工場で年産十萬トンの増産

鑑別にないと見られてゐる

然るに當局は我等の存在に一順

跛行的荷動きを是正

現在の障害を整備し

上、事件が過ぎ去つた後五日の後 | 騒なるものと見られてゐる、即も | の数百聴を以て僅かに深を吐いて **総道局制立による現行鮮前間の荷** あるのみであり小口協物に於ては

建築時代を反映する

一一〇五三種 から一向に演奏があがらぬ質情に

就いて各世業者に則する非常なる 米倉館配では今回の政府買上来に

働ゆる事になったが其の方法は左 便法を設け各頭客の平常の耳部に

工薬の鮮内並用を意味するもの工業の鮮内並用を意味するものである

漸次規模擴大の計畫

日本品輪の東京及び大戦南で塩の

その卵内地出は三空脳線の頸卵重

「西庭園に達するが耐火規模

**単校でこの他には大阪の田中線** | 極新を供給するとになってゐる。 東京文語工場の四工事が最も大 「報かの来はする端の郷証用の識 東京文語工場の四工事が最も大 「報かのみならず海洲の郷証用の識 は汽車製造資地の東京、大阪工 を擴大し源跡用の製造も行ふはす に汽車製造資地の東京、大阪工 を横大し源跡用の製造も行ふはす

鐵材の需給狀態

鋼材三十萬噸使用

今年は工事量の増大で約三萬二千 小運送業改善と 運輸同盟の決議

を始め各種紙の事業が受験を担ぐ。 | 国家の非海軍を対すれた世界の別。 | これではは皆様の記録的な土木事業。 | 保護的打解を求するので降内非常。 方野型の決論を行い世方は総合の影響を表するので降内非常。 方野型の決論を行い世方は総合の影響を表するので降内非常。 方野型の決論を行い世方は総合の影響を表するので降内非常。 方野型の決論を行い世方は総合の影響を表するのでは、一般により、一般によ けで大陸三十萬トンが使用される。二十四日府民館に於て全難役員簡一朝鮮に於ける我が一千三百百年 起てされるのでスチースは鮮内だ 動隊たる朝鮮迪能同盟的では去る

を勝じつくあった。 そのためには

な避職に届られて・戦らに興職艦。ガスチール(興材)は昨年中廿三に處する國民の道は、陳島の大き「トンの誘題力必要と見られてさる。 トンの銃隊が必要と見られてある

小迦透表の歌選到質はその反面と、を開催、これが對策を開訴して別

場は操業中上の狀態

本府鐵道局へ陳情

る。一方 物匠属 使の鑑が 疫間を設飾も 張 保管の まくに なつて居 成けて、質内隊は木だ底立せず、 東 けて、質内隊は木だ底立せず、 質問容易ならざる時局と言はねば

るであらう。われらは急国のB空 館スキー選手観大郎は日本、ます、ものだけに含む春であれていました。 実践行業と言葉である。 の人々によりて、好調に打聞され、「選手観大郎関係は漢明大田空」をり今年は三年振りに駆びされる。 場時で大小野髪は変の大佐四の人々によりて、好調に打聞され、「選手観大郎関係は漢明大田空」をり今年は三年振りに駆びされる。 場時で大小野髪は美して今後四年で子が設置まる子後四年で大小野髪は第シース今がにいそしんではしい。 時間を

の人々によりて、好湯に打挽され、「選手版大原の単度近後第六回至」とり今年に三年版りに現行されるのため、背景が観の態度を誤らざ。の所は選手観大原ははよ、あす。ものだけに至さ待ちらがれ腕を置めため、背景が観の態度を誤らざ。の所は選手観大原の単度近後第六回至」とて得ちらげた経路の必ずしてしない。

か行はむる情れがあり、愛心型

三年振り、選手の血湧く **積雪一尺、條件萬點** 

なられ。その間動もすれば浮蔵飛

教師よ本氣

**豫思外である、重工業の大工協設に於ける銀の大地底は實に** 朝鮮館を建設 各博覽會を利用して宣傳

**電源等の出記帳筒を急いであるが、は悪光、交通、連管、感音局から月北海道小樽に開催の北海道大陳 て奥に五薫園を詫上、脇道局から月北海道小樽に開催の北海道大陳 て奥に五薫園を記上、脇道局から** 艦の脈科國際温泉産業博覧館、七一品をなし総置、懸賞、祭費を含せた博覧館長び三月二十五日から朗・水鑑工産物のほか、外局が共同出た博覧館長び三月二十五日から朗・水鑑工産物のほか、外局が共同出 から開催の高知に於ける南國土 右朝鮮難は本府館の農海林産物 ら名古屋に於て開催される汎太 萬一千三百圓を以て百九十七年の 紹介、専門局からも半島等の事業

費五萬園を計上してゐるがこの内一を行ふことしなつてゐる の内地紹介を行ふことしなり、經一宣傳等國館産業經濟の積極的紹介の内地紹介を行ふことしなり、經一宣傳等國館産業經濟の積極的紹介 て半島の豊治林、水、西産物など

東拓金融部の事業連出は此路一兩一此外都市經營等の正系事業がある

音で服切り好記録を期待されてあ

スキー列車

でスロープ及コースは何れも四十 種目に加はつた上に廿八日の陸雪 本大部からは新たに綜合競技(十

程以上に達して上々のコンデイジ

参加選手達も三年振りの大

夕刊後の市児

器質局では本大陸の見物者脈に日

卅日の夜動く

接の下に合法的一切の手段に訴案値なる機能力と何主大衆の支持人は正視維護のため和基盤力 ○ 第三十七超定時候主總管は來る」 ○ 月十二日午町十一時から同行資職 第一日午町十一時から同行資職 を設定を開発するが利益業力量を とは近郊を開発するが利益業力量を とはたの如し(電位側) 三十七期定時株主總督は來る二種銀決算・朝鮮強産担行の

**阿能運輸開盟管 金鲱池員會明和十二年一月二十四日以て官す** 

连用御省內部 ☆ 資務屋 治 明 課

常知總領金一八、一六二、二四 七部別線接金一八、二七九、九 二二〇町別線越金一、八八二、 二二〇町別線越金一、一五四、 二二〇十二、二二、二二、一五四、

作週の即時徹路を要求して其の を選ぶの時間に通行せる世 芸人は現下の時間に通行せる世 決 疑

純良な酒には 有らゆる 栄養素を含む 経費に防腐剤を含まず

五八二・二九九・九五九長 谷下話電 所 張 出 十二町旭府壤平 目丁一リ通岸海西市司門

刻朝王

知れませんがふとても決しては間は有限でダムと笑ふかからした確をやりますと、

0 0

人夫ルハ田村

見の時間を、多少差虚すれば、関がありあまつてゐるのではな

記戰觀

ループを黙せに求めてゐる、要作題つたが居ない。夫人は十人のグ

第五局

岡五

平高安 為

ム七段

虆

吉

八茂

北 泉

孫

Ξ

めれる東拘らか親

る見夢を計設の活生

分も位、正面の女母生さん達はこ

て掛ります、勿論にれば東京大尉 女型技師代の 第二て、 一等にて、 標師月賦貯金をするものの歌楽婦人の生語にあこがむ切つ ち食べるのも郷がかり、今までの もの、 熟味の( 旅行や音楽、 王襲分も底、 王錦の女と歌士さん建はこ | のでなく、十分の八きでは低む | で、中には、 単妹に小道しをする

學資 お小町ひを買いてる

寒もあります、しかし、とにかく

ガス・煉炭・コーク

切ざ

女學生に憧憬募る職業線

全國の都別にきた、からした傾向

は著しいのであります、その遊想 はじめ大和創地に見る風景ですが

は自分の定ひ扶持として五個か七

いて、現在さらし

次の経済平記を御殿になると分る 国かの小師を家に入れてゐます。 ないのみの状態で、少しましなの 大部分がこつかひ。稼ぎ

着らものでも当っことでも、それ

から他の事についても自分のとつ

までに時間かかしります。 強くまでの時間についての統計で

の以用を関するかという数までお

へわばたりません。 それにはガス 温度を保たせておくにはされだけ

は旅館かありませんから何度でも

點火せればならず、多

人致の家族

嫌疑は過期は最低ですが、わく

他人の説きけばに好

食扶持は依然親もち

場が月二十五国内外の収録程 大量申込みのショップガールです のは、最高から給一国、延り相 イスガールの目が、あはやとい 毎年本業別になると、 版の の模様を含ぎまでに調べたのをお職業婦人の位置につかれてゐる人 はしばらくお

なんで単はとうてい出来る筈の 知らせしますと、無論自分の生活 ほんとうの意味の濁立生活をする

> は可なりの辛抱がいります やつて行からとする方にはそれで 通り、一通りのおめかしな交際を しがしこんなのは中々感心な方で

にしか沸呂風お

番が済かとお迷びにな ែのものを求めれば一 知品を新らしく求め

こゝに、二人県呂を

コ石銀ガ

分

野本年一案並審

親、雅以と小説い五四、貯金五四、大服以十四、修造(維結と四、大服以十四、修造(維結と四、大服以十四、修造(維結と お茶を嗅みあつたりします。お茶を嗅みあつたりします。お化粧代と会歴数で中間、お金五田、雑数といわな。 ◆日給一圃の車符段 女子青年官クラブツ 女子青年官クラブツ 復用を各種燃料について統計をと 四十五度に湧かすに要する時間と

大同小異にてたいていこんな所 | 石度(入浴の)強温)にするには、 国でくみこんだ七度の水温を四十 は一番風呂をわかすにも時間のか いる時です、この準節に、二人風

人ぢやさみし

女提瓦

と呼びつけの××タクシーを欠 の×町へでも出かけて見よらか

一致年前安慰在住館時、お知合の方

の新発視に参り、そこで立派で

一當

流代

酮

Ŵ

(3))

著へて見たいと思ふ

発作が得られますやう期待いたします。

阿上に新聞を聞き、

れによって数な

男女小母兒童生活等。

規

定

時間に無理をせぬが信條

十二月、一月、二月とこの多季つたものをお目にかけませら

分ですみますから能器的には便利以上かくりますが、時間は他の全 と所で遊ひますが、大地の別合け 故にガスは説用は他の燃料の倍 勿論ガスや石灰の値段は時

之を最も別の謝きですい夏季に 炭 三十分 六銭 炭 二時間三十分 十 ス 十七分 十 オ +

え炭炭

五十六分 十三時間十分

る時、どうか問題ひがなければよ

前の獨立婦人が、暴息だけはあつ

はれ一人前にやつてのけよらとす ることは繋がかりの、つきり生人

であります Δ. 像ではないでせらか、

自分の食べ

しかしこれは相當者へさせる地を抱く主要な難であっませら

新年女學生が職業婦人にあこがれ さな事が出来るといる。これで



は温狀態に保つ時は輸出すること こうすると、中の光は重か二分 たの中に聞まり若しそのまし

間の中に乳を凍らせるのであつて このことだ。それによると既い関 ど、赤もやんのために、その例 ほか脱れるれてゐた所ニュー を工夫してそれを採用してわる るが、何といっても<br />
提乳に<br />
歯 は無しといふので、世紀の乳の 見用のミルクは敷塞く作られ

といる船野なものである。ドライ・アイスでその時間を飼い 盛した風間の中へ乳を注入し、

冶

百

點

**下屋さんへお待ちになれば、直ぐ下屋さんへお待ちになれば、直ぐ下の明治の菓子を販賞するお菓記割のマークを百點お集めの上御** 



けていたときます とり合せてのせ、熱いかけ汁をか

海老飯 材料(三人利)芝海老町 一角 海海二十名・境内(県)三十年 東海・瀬田小島市、 れば長時間保ちますから設も経済。 の家庭では非常な不証的になりま

くときは運搬の上に、好みの具を

の昆布と鰹節で素出けをとつて到 立て、脳曲で薄く棘加減して汁を 材料は一つの器に盛り合せ、周 を煮出汁の半分配ませ煮

ます。際元は配いでしてせん切 度台は嫌いて乾いた布山

――、開駅引き、五五歩打ち ―― これで甦もに五六歩と取つたら これで甦らに五六歩と取つたら 機性にとりて の御名前。受持先生文は緩方擔任先年。男女別。受持先生文は緩方擔任先年。男女別。受持先生文は緩方擔任先年。男女別。を終き入れるこの御名前。 一篇五百字以内の短文。用紙は半紙版の一篇の長さ及び用紙 **菊油瓦光生。食桶惣**の保田万太郎先生。食桶惣三 昭和士 | 年三月十日 選 たしません。 し審査については(甲)(乙)の差別をもの。 | 明治関東文はその製品を題材にし| 魔 意。 0 年 月七日 ・に書き入れること。

ある近面都野地の女性の間に鎌倉産村田氏夫人)は王朝刻の名人で

今川日川ま

**村時間各九時間** 

るには一個の

步 步

至妙!六五銀上

b

北六段對策腐心

やら 多言無用! 早速その軽牌を見

新草町の村田へル夫人 (il)手物

▼七七年4 ▽五六歩の

角人

<u>銀</u>

444

步 玉銀

氏線小△

爭退 步

があるものか、京城の関々をカに求めて、どんな女龍名人遠人に求めて、どんな女龍名人遠人の様はコンクール、繁鎏を京城り、その領域も亦級りない、婦

様で、精弾を打ち込んで所作に常 の時間は必ず一週二回と決めてみ

る時の心境を夫人は次の如く説明 る時間に無理をせれるが大人の信

> 四六銀78 六五銀1

「駒特」

科

桂香

の侵入を企ても親小泉七段は飛車を

上に及び四六銀と上り敷の銀締造を指されその對策に廣心一時间以 易一郎

賞

金

川 ・三百シャープ 賞・置

流 製 菓 株 太 舒

n.en.provin.an.dravandreprin.en.dravanda

**嶋**谷汽船株式會社

資本金 通賦 銀定 参手語園 回所六十四ヶ所並にの 監朝鮮殖產銀行

有賀光豐

正山出現 代担尼 第四 政部 一月 日 第三级文届 三月 日 第三级文届

代理場。原田商省

城梯出帆 代规据 北鮮 四新組

Ħ

ć

京城南大門通二丁目百四十番地ノー 行業務 國際國際

群山、釜山、木浦、平壤、大邱 社長 谷 多喜磨 (登錄等內題量)

鮮信託株式會加

在 地店

京城府南大門通一丁目十九番地 出出迅速有利 部 ħ Ø) 價 場造醸油醬杉高 

低各 種 貸信



を振ります。どうを実験本位の取材に載せず、要振ります。どうを実験を配じては、その機能を多態度といたします。然の戦に、この機能を多態度といたします。然の戦に、その機能を多態度といたします。然の戦に、一般

國商 擬音原城五九九五番 長町開本局(2)三九〇四番 京城府貨金町二丁目

展涌出机代理以剪鲜沙滩出版的

市國 製 麻木式會計製品市國 製 絲珠式會計製品市國 製 絲珠式會計製品市國 製 絲珠式會計製品市國 製 絲珠式會計製品的 黃 語 國 取 賣 語

朝非總賣附命守杭格 《即〈摩太行 《即〈摩太行 《即〈摩太行

御用命は専門店の島田へ

綿燃絲。麻綿。

ミシン絲

ニラローブ。絹紡細絲

图略谷汽船服出机

後山 万(金石) 新田安半山

施計九月丁二前時期かれ 堂 昌 誠 田 島 第八四三世前本語開 第八四三世前本語開 第八四三世前本語開 第八一三地京母副 第五一町本所郷中 時間出 第四八一三地京母副

一、 類症長(三日・七七日) 竹 被 行 使日上收水時 九部連行 使日安年十二時 九部連行 保護等于期之時 河州岛行 常被日午期之時 河州岛行 常被日午期之時 医療所入時 西州岛行 四數日午期之時 医療所入時

網

前面的 也也也

日本語日

代語 野口 商會 代理出

イバンプーリストピューロー 客部刊起製所 - 京城三越支店内 連絡媒賃貨物取扱比飯

京城府明治町一丁目(交番)

即直

秋岡商會

超高が発見している。

城第一自動車學校

財通 駅 一別が、 財通 駅 一別が、 財流 日本語が 関海衛、 芝罘、 大連行 阿波共同汽船帐出机

## 州」平一事を解消するため平北道では 【妖魔」ひの門着を心起するのでこの不幸 能し一般合併の指揮下に兩位の各北南道含司の進業組合験合併を組 ガツチリと手と組んで

海の幸開發 平南北海場の翻取り割ひも今海場でおかず常間の個々の稲であつた 合聯合館の組織は紫外間滑に實現 萬七千百三十四國增加し前年而日

要により共然家を作成中であるが、 自轉車:北河 用 【 阪州】相合が大々的な確の補鑑を期する。 3.4 で南道を打つて一丸とした御業組ため是非質視させたい言語へたの を述べ自石内が部長も水産航道の「上光空間の村主司に土種で以来ば 内務部長を訪問、南道合體の主旨 同府初普町の小路で自興車を窃取 なほ郷談長は過日平南道路に白石一京城府権非町一丁目著元徳つらは から解消されるものと期待されて 移入六五七、一○九回、絵入五 上り州萬五千八百八十五國の時間

> 断様三萬方で具半個外二名か正形 が二十六日後他的観光をか水登画 神の下に防犯に萬金を期してゐる。 底上本調子となり二种記名接認信

仁川の

商議總會

豫草案可决

盗んだ金は

|【仁川】 調工商品更足財政権は 十八は午後四年から別議事で原鑑 中八は午後四年から別議事で原鑑

田南原別館を宜し、十二年度の限

界案について護海地軍の説明後議

の結果領導機能なく可挟、題に対象に入り能入機出を一括して振識

長村振興の 法犯が减る その反面酒の密造が増加 站

清州檢事局の調べ

【開版】昨年十二月中の開城貿易 開城の貿易

特別活型の増加したのは酒の密用法型は非々減少の傾向を辿り究して見ると思う展典のも座で

**新**进工具工人計一手人 

中れは概数においてがは、近日 大十九人を見してる か明平に 題に於て雅塔がほご百六人威特

**松城朝鮮ホテルに湯村京濃龍川事** 

期待される南海線

一般人は足がつきさらになったので、卵し酸重取調べ中

十四を訪取、優州第で犯人担託中。んだが周州署では容録者二人を極

**類等中何為が破入して現金穴百九 を結びつけ被害者で順力をに投込ったに表る士三百年後一座電家人の「東百國の一包に分けてそれ」、石** 

石」たいってあるが砂圧者には不耐か

四年制認可未定

金電車車

ô

設新

高級 期 日 英語 全 大 連 古 等 高 楽 摩 校 大 連 古 等 高 楽 摩 校 大 連 古 等 高 楽 摩 校

答章

挙

□ \$\text{\$\exititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\

魔幹本位調中出点頭の悪義線|東京市芝師白金三光町(市取便利)の體が自動中學校推奨、特典付|學別及 講義 発見本中込えが発生 訟芝自動車學校

白館市太

郎

|張同||郡内の朝州を記し百五

百五十月制州

永同郡の溝

日標とし続く開館中であったが、

ちかく誕生

を削留てられ月下各面 一看記書 住は帰助かあり城地では

【陽州】郡内華自面仙室屋室顯九、二十月深思徹んだ金を百九十四と

家の中に投げ込む

金包に石を結んで

の揺戯組として観点局でも大いに 道は沿線開鍵に一大動動を與へ

機様各地とも開想となり地の中で 戦し着く運動を辿め二十五日は木 のり殊に極光の如きは別次哲を組 製各方面へ協力を電報で依頼して たが木浦としても既に共商図版

大同江の河床調査

視されてある

の発達は本酸道を井川より贈川に 延長すべく運動しその既行きは重

の解語は物盤組入薬師の手腕を立の解語は物盤組入薬師の手腕を立 李增天局部体版面奇岩里七二自 てユニ十六日野原大同署長から炎の歌じてゐたが今回は、宗化田組の手 窃盗犯逮捕 に施され観案交通上が大の不便を

認可說に關係地は大衝動 川跡大格闘の末港浦したよどする二名の戦を刺引が殺

の五年間が四年間に数可され

触され、口質補間も極度の別談プランで試験問題も至く面目し 川原を放利するため人は敗軍の

機を施行する野の高女权では、一つたが、二月廿二日から一週

貢収いづれる施行されこと

遊りをあげて戦闘をするめて

が、今年からは例の極烈な山

【所稿】思州から旅遊に通する州 丹陽橋架設 州曹校 白承烈金交河豊政 対政影された兒童は左の通り・

昨年中の水場が を開きその際上で では、十四一起例 【威與】成門你方

つきの態である

到を接換して表彰したその 第に一等五十<u>間以下それ</u>た。 ① の面々であるが場け高はいは以が 質励、近から業子廿度四分の限等時から消滅本職構内で寒中訓無を を耐いて各個教練、ポンプ提法へ [字型] 前防艦では廿六山午後一 の寒中訓練

振ふ勇み肌

低級とか 吸稿さの気候も発に仕立日か!沙里院の酷寒 [沙里院]

ガツカリした二十萬府民

政局の動きを注視

し零下十三度二を示した。元山河一同的主催の無難規節就を無常に大 いよく~本格的となり二十六百四 | 回蔵電北方面の先進工薬画を

して多大の効果を収めたが平平

中一宗い要日本各地方の経済事情を調

立することくなり日下膨脹中

比上旬四回、中旬三回、下旬三回 句四回、下旬十一回、また二月で、乗毎年の絵画は一月上旬四回、中

となってをりまだ少々は弱くなる

慢良兒童

濟調査 -

お話を大いにみせて緊張しきつて

本所の意見に對

型ち組合側としては着初より端を上中である が走中である。 では、1000円である。 では、1000円である。 では、1000円である。 では、1000円である。 では、1000円である。 き本府営品と型校組合側との間に

學組では原案固執

要核組合では高野

港の雪景色

加スケッチ

させたところが聞から扱け切らず

脱中に踏み込み何れる一綱打位に 【清州】昨年十一月十一日の商工。ピラを創作して實行方を促すこと

発験師に強んだ、なによ<u>一年度</u>

門医時絶官で従来の民間集金山が

一定せず時間の至戦と記跡上相互

機械である。近く實現のはこびとなる 土師知事を訪問意思の上閣議を行

大 証 年遺

村田女子計理學校

▲翻書 受付三月卅一日迄。修業期間六ヶ月。卒業主職追別職 ▲特色 本校仁本部に於忙る唯一の女子計算道務員差成の學校 ⑤本校へ資地ニ役立校報者?養成ス○就職モ料介え ⑥本校へ資地ニ役立校報者?養成ス○就職モ料介え

山陽面長辭任 後任を纏り 爭奪戰馬開

飲食、一回科芸矢坂における た見し一般敵につき背山原気

集金日統一

政の間に質疑問答を交し五

行力者が加了して幽

八十五個の増減で総派三四門干七 超級に作ひ則平度、り六十三百 算は開進途上にある仁川質工界

永登浦の路

昨年中に三千三百人增加

逐に六萬人突破

等则后在十四年 治四十四年 別一錢 別

東東

京

寫眞學

領帯科一ヶ年本科三ヶ月卒業◎戦集人員各一○○名司人へ凡り一枝ヲ獲テ獨立的生活ノ安定ヲ倶ヲレヨ!

石新学期開始

べると三王三黄大士三人、即立立

人つての最底氛温である。度二を示したがこれは

釜山に發明

破ること數年の内と推測され、六

館入 男八三七人。女三五六二八人、女三四、三〇五人、 □八人、女三四、三〇五人、 □八人、女三四、三〇五人、 四和人、男二四、

一会を見ず休留の形で迎に磨査人、大郎、原事元島仏郎廃氏が直盤に一会を見ず休留の形で迎に磨査人、大郎、原事元島仏郎廃氏が直盤に 【清州】市塩擴張其無米は過度の

**赤員會で討議** 

六一年後工業供業部の爾長和品

製築校の稱ある本所は誠に日本意で者來れ(卒業六ヶ月)

**双善墨汁** 

帝國總明國際權文部訟が至、要性を有してゐるだけ後任前長に由」参加工業供集部では過度。一方向面は統領と陳めて常僕在市 期日發表もお預け 事情通の鰕腕系が期待されてる の荷士を造つて曜中が新四野歌 月上の部合を理由にこの課題質 全部が地から移入し面内の情報 か、同面はこの二、三代の面長は 技術館方を思想しるる様子である マシネマと演劇 一語。三年山梨面長金海井氏は



現今时人中込っ事

日付自二月二十三日(高等商業)

東京高等無線電信學校 ○「職井常時無線上業ノ旺盛ト海迪界ノ活況ニ佐詳細へ(入學案内、學期、卒業生就職別組設)

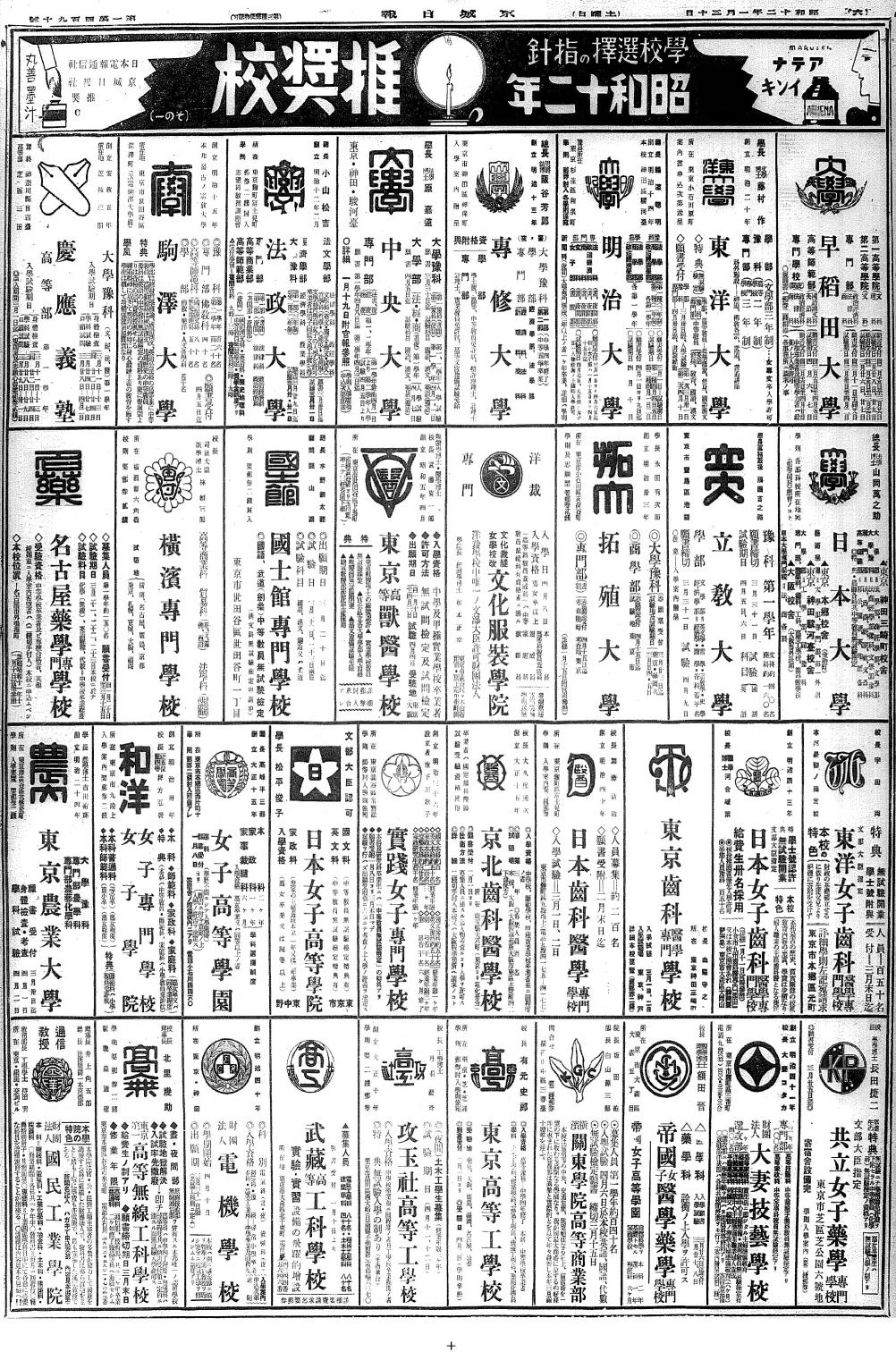
型 付 額三月二十三日 内燃機關事攻分科增設 定

○武 驗 △新 目 英明 代數 國史,作文 ◆經 國學 東 京 高 等 主 計 學 校 東京 高等 主 計 學 校

女高師嶼專門學校受驗科 合格率納胃多數

英

袁



宇垣さん大命拜辭の日

受収つたのを見足め大数にも西大」を取入は後からかねて用熱の花筒町はなさんが窓口で現金五百間を「と相手にせず既へ入ららとするの

たと言はまさかと思ったがまるの如く融った 羽祖西大門署長は大ニコくへで次 たま~~廿九日午後一時年ごろ長一気丈なはなさんは「酔って下さい」

羽根署長の話

びこんだので、領域の政権へを手配中分入日東四傾向の交流に三宅

門が設は巡三回鹿けて本町器に舞

を狙つて無難説が出現するとの投

り」の窓口をおらつてみたもので

他山合西市山場所(既報本部は認

犯人の自由によると彼は三日前か一と盤をかけて対闘へはなさんを呼

の作派町一丁目酉大門交叉監の金一び出し「主人はお聞ぎですか」と

いひ「留号です」と答へるや「今

獣々と貼出しに見入る人々 (Aitill)

島で廃垣返分に別し、新党町一 三元の道路約四十四坪を全度

同連絡を築止されては上往十里 同が相十里が図り出ていた。 同が都を中心に設度が出ていた型。 りをせればならぬばかりでなく 同連絡を中心に設度せんとする を敷の店舗は出入口を聞され ることとなり、その指揮番大な

火災の聲明に即はる器は平米軽減

犯行三日前から

窓口を狙つてゐた

冷泉町の白晝强盗

一近の地理に暗い犯人は降り終始地

るのを阻近の人の申告で昼けつけ

翼――京城東四般町警監覧、大和岡婦人の夜の一人歩きに贈る旅信 町方面の役の小路を通江する婦人

御婦人御注意

に取押へられたのである た西大門器質と應接の附近の人名 級人に押し出されまごくしてみ に隠れようと走り込んだところを に入り込み同明七一金兆銭さん万 講習會

**尿城運動場を改装** 

實行委員初顏合せ

**内地からの米鮮原層は昨年「鑑道を惹かしたが、今年は更に濃」跡じたいとしぎりに選しんであるる。** 手すでに急級に増加ぶりで撃山府」ないやう何とか関南定権緩方法を

**製造局では早くも歌得の方法を伸** 

がドッとばかりに京城を訪れらの。所の三等三百名、禮島、高校南選。を選ばすることになつてゐるが、「不足からであることは難ばれない たものだけでも既に隣山戦党事務、三季進行一つつ七、一〇〇八列時の方者とく、五月の米郎を基礎と、京城、後田、安東間には不定期二、一四方者と、五月の米郎を基礎と、京城、後田、安東間には不定期二、 大民原行物の一等自省のつこ自名、これ以外に臨時列曲を連携するこ 商店の指荷観光師が内地観光から、上ったらうと度想されてある。 ぐつと半路に足をのばして来る原一文……この際弦に就て都道局では 一方領部から内地に行く断辺は非一性なので、観光客の卵機轍を扱じ

朝鮮めざして戦地する観光版は底しれるのを得もかねて、憧れの観光

出五十名に上るが、発生現行の大一からの観光問題 客は総数十萬人に

報の通り二月から四月にかけてド

除萬圓を投じ

完全輸送は困難 であるがいもすれば漁組し既はそ 却質である。京城消防器では二月 対策は何んといつても人の訓練の の方法を誤り折角の設備もその気 六つ三一川流江午後一時 公政師の選用



野神を開催することしなったが 時に位する者に刺して、火災軍 節柄板巨に適した催として申込 病院、學校、大館仙等の自衛 消防を興、避難方法等につき 五時きで肝内の自公面、百ぱ

階みの鐵

**殘念、全能力を擧けて** 

伊首相へ贈るお禮の自像 してデッサンに取り

船長の處置は遺憾』と

譴責處分を要求す

り一時に愛兄三名を失い、悲嘆に

布ホ

来二月一日ヨラ定價ノ三步値上仕候

布ホース共同収實所

店

ス値上

れてゐる悲劇の家京城新景町金

|上間島横直氏はこの宮の確な大力であたが、廿九日領本町芸祭

を慰めて下さいと二十四を東大

るとしたがその後金夫婦は悪語でも高び直に金さん万へ傳

鹿島丸事件の公判(鯔)

判決言渡しは來る二月五日

が主成をまつて頂さ

蝶々夫人。に扮して 三浦環さんがモデルにママママ

上して自公立學校に入場出來得な

内容の充質に力を入れることとな

童郎は一年遭りの低声を摘びで全てを店ぶキングレコードの童師、兄

お子様向レコード

にが問して度の往射のを成けて住民の足 を選ばせてらたが、今年に各層 が展別と対象を対象とのなる生 対解数点を対象とが、今年に各層 を選ばせてらなる生

もあり一緒になれないのを記載し

ス魔婦が世紀一を組織して版竹堰代表を築めて打合せの結果「チフ

従来のテフス量的は所内含署でを開始することになった

一所内各智の衛生主任、同衛生組合 「西福州で近南主体、京城財命生活

解の親選や先生方から大歓迎です

**悲劇の主人公** 

一大人 東京 東洋鐵道學會

前二七一力梅林松太 北川山田午前八時家川峡日高アキノ

類外姿を消す

演を許可されこの健康依頼したので添換膳頭を許可されこの健康依頼に比てので添換膳 許可證を贈られたの スの同時伯アトリエ 伊國政府から正式の 伯は心煩機形平ハウ 赤砂糖作成に製作をになり現断点の圧圧 史十八番の々曜々夫 で、そのお棚に同女

なが強へて進伊する ながなって復言さん)

仁川の日本車輛分工場 當分は組立て専門

生血後の被濫物人の函数は船長と

て情状的量の除地はあるが認時は「運転警路の狀況が能長に

の同二時半導質調べを終り御能用

品丸粉は金成允(\*c)の調問を辿

公支連続事件の公判は<br />
捜索性の公判は<br />
捜索性<br />
の公判は<br />
捜索性<br />

しての實性を決いてある點がある

七時年五城南太一通五ノ二五四二 行倒れ青年
十八日午後

風景と寒さで行動れた北北小殿は 要問題様の路地に降り積つた壁で 

護を防がねばなりません」 万面に通告してこの所事件の再 縮低しました、単連管内各關係 『描述婦分を至者と考へる』と中 と、詳しく技術的説明をしたのも

お目見得泥

**デビューした半島唯一のジャズ崇観だるCMGジャズ・オーケデビューした半島唯一のジャズと舞踊の夕』は庶上州(土)州一本紙代館常止駅主観「ジャズと舞踊の夕』は庶上州(土)州一本紙代館等上駅主観「ジャズと舞踊の夕』は庶上州(土)州一** ストラ薫に在城の人派敬手選およびOM0舞蹈器が振べかに脚

研修にも一般名一で中域で数に移 楽をしてるたが不顕した事から思 かき一本を研集選げ出すところを 雙桁新作里 二二六個號三氏次女器 紀世紀を酬いてゐた事自自した が比れば後八時ごろ主家の卵裏 (城征護町四一金仁淑さん方属 御殿京城へ流で込みお月

館民府半時七夜兩(日)一州(土)州 果を一ばいにまき取らさうといふ趣何である、番組は左の如く 昭和十二年時頃、府兵館の郵飯な舞響から唄と踊りの書程の花光を浴び、GMG次警部派に本社判案の斬新な設出により卸く のMC パレードッ全員出資で祭問さ ・ジャズの改雑を受けて、これ迄のヒット曲目を顧気紹介を明立・ジャズの破雑を持た。 プログラム

林千鶴子、金田松男、牧政人、南一郎、歌手岡蘭子、渡邊千代子、花井晋丸、小田濱 CMCジヤズ・オーケストラ並に イナアレ 全員ンセンス四ヶ青春期退々 太郎·CMC

けふの天気

園 仕奉 會 社 申 毎・日 京

出ぬから の一聲をで使用人はグウの音も の頭痛を拡減に病むものもあつ はに現事脱死といふ人がある。 心配は全然形像に終った、何ー たが、さてやらせて見るとこの 珍名辞典プト本頭船の







### に乗出すとになり、過級的語され 連続投信加能酸として中等、段門 大会師是務所長職務員職職に私立 明平度からは観撃戦を地域される た結果いしい たが、生島陸山源村の部庁随和に「良弘立建校は、顕然にる處分に附しての答申を得て慮よこれに若手し」弘立是校の監視、監督を破にし不 私政政府機関の内容側所を時間し たか之と共に私立學校の内容充質 現校の構充に向つて進むととなっ 级中林町一三個下所東洋丁業會 改制があったので今度こそは必 これぞと智能も振りきつてゐる 職工が罷業 東洋工業の 學級増加よ 民衆の向撃心は端か上に向 | 胚端の許す範疇に於て確助を操へ会認能市適村の部庁認和に 良私立建校は 駅沿にる處対に附し 教員の質が問題 本府で優良私立學校を援助 ことであるから従来手不足による に對して要求保預を示してゐたが

色質自となり枕を順べて否悶して | 練つてゐるが、廿八三午後克護庭

一天小衛王派長を気動に組み策戦を 関発病師市京城の汚名をそんが

明朝新聞店與甲 岩島區 京城地方法院 京城地方法院 明和十二年二月二十七日 京城群太平道二月二十七日 京城群太平道二月二十七日

八懸賞捜査廣告

赤 管 愛 順 和 病 専 門

一、懸賞金家百圓也 京城的斯二·新疆 一九万歲數據 東田人 日 高 ア キ (常士) 色白く領丸く起還く 美人

お茶は、新元清元園

産婆境フミルサラ産院

ものと、京語版生識の財政陣は

チフス奇襲隊

怪しい叩き聲が聞えるのでびつく ながら行つて見ると部屋の中から スノさん(言)が「常さん」と呼び いので、不識に思って仲居山下ヤ のも同八時半になつても引揚げな

りし、雅込んで見ると二人とも節

一部のすっこの馴染み客元町二の一 廿九日午後四時ごろ京城郷生町三

今津博士の新しい療法 呼吸間報・2010年10日の 一次 では、 一般 して、 市では、 一般 して、 一般 して

製成機関

彌生町心中

KAR AL

東部 **外**ラスルミーレントケスルミーレントケスルミーレントケスル 病料 第二条 中海 大田 病料 第二条 中央 273.6 表

娼妓と馴染の青年

長崎登男で一般名=か智順した

中で赤ん坊の泣き躍がしたので不二てあつたので顔山者に羅げ出たに闘づて見ると閉めてある表戸の「盥に包んだ生後一年の女兒が衝でしたが廿九日年後七蝶職場から真宝」帯に思ひ急いで明けて入ると資浦 銀盤 に描く美技

| 東大の楽県恵、町大の岩祖屋、県 | マンギンはいづれも全日本地手上|| 早大の楽県恵、町大の岩祖屋、県 | マンギンはいづれも全日本地手上 ケート低端部二行は廿八古年明八一髪めたものだけに低活白鯱麻を演員スケーターから成るペンギンス。白鉤も京城一流のスケーター幾を 清凉里リンクの模範試合一 じたが流石は日本氷上スピード原

二二 錻力競兵増順さん(\*) 狗クラブは減紅のユニホームだ、「黒(べ)五〇砂ド4名は一日 (本子) 京城寺崎 | ンクラブは純白のユニホーム、白 | 2金正臈(べ)四九砂 ◆五百米ー崔旭最(べ)四七秒六各種目に亘つて好記録を出したのナンバーワン選の数。をみせて

酷のホテル入りをしたといふ触り 質をでり、更に一時して加速ひ 珍名が既にでも出 を出て加速ひの商 が珍しいのは歌に ルの支配人は脳関 で来さらな名明

神経の方は本局三七七七番へ 別作選の方は本局三七七七番へ

特別案贝

區學博士圖上新吉5 區學博士圖上新吉5 泰司司參

(世界長七二三番・六八元) 京城南山町二丁八元) 京城南山町二丁八元 東東山町三丁八元 東東山町三丁

+

間の自合は廿九日午後三時から朝一員する意見の交換、經緯路出の方 世のより、大行、京永、甘川氏外六名を代表として発験の書法等を協議の後、大行、京永、甘川氏外六名を代表として発験の書

といふので悪趣新堂町一一三季相

路として使用する 路として使用する

1、百水南局長、甘浦京城府 鷹、桝・西海、 寛本 南島長、甘浦京城府 鷹、桝・西郷の田瀬東の 彼多に、南田・ 館事に建館し和では本郷に前四時 林 韓田東の 彼多に、 寛子京城 生初の配合せを了へた

点で、今秋九月頃から撞上場で製作した相響の組 模様である は将来全製作工程を行ぶこになる

五月當建で物決を申進す」と述べ 立てを行び、岡田雅桐長は「氷り 家の中に捨子

京城本町ホテ

3. YEAR. 瑞西製高級時計

◆加山信用組合 第は1回通常 ・ 1 回車影響女學校で開催 ・ 1 回車影響女學校で開催 会と催し

局に回情するところあつたが、更 に吸口則上注十里町では町館を明

よりは何所に併付けて欲しいと點 に持行けて一般居住民を取らせる 同町副紀代尹等基氏が第一線に立 に原情を行った、原大門器保安 投等の通船を設れると決職、

しめ調査を行つてゐるがその成行

自衛消防の

北部沿岸の日本車棚分で担は常分 衆を開始、光づ鑑道局から往交評 みの後、単二百腑及び雌鼬小客事等

里町居住民車に新位町の一部居住。住民達は 我等の通角を讃れと京城府上往十一この突然の出来事に驚いた附近の

上徃十里町會で決議

を破にして未然に防止するは勿験一般作上作目してゐる、なほ同じ塩一 組立を行ふな定で器は局でも中間の担当百六十歳四に上る新造印理の

樂部と模範試合を行つた、ベンギ 時入城、廿九十年後二時から清原

海流 

最高級純毛コツトン

枚金三

純毛細地高級品 高級針拔アンダー

純純 毛毛

七四三三二〇〇五〇〇 號號號號號

一枚二國六十錢 一枚三國八十錢 一枚三國五十錢 一枚三國五十錢 一枚三國五十錢

純毛ラクダ色

金三圓九十

オリンピツク柄アンダー

五輪新流行

防寒カワウソ代用 オーバ襟毛皮

ベンドナシ鬼セエタ 全五國二十級

純毛ラクダ 防寒極厚地

フタダ色二色

三圓八十錢

鬼パンド附外出着 一枚 金五圖五十錢

厚地純毛 厚地スモス一枚値

四六十袋

| 個大

女アンダー純毛トツクリ型

天幼年服水兵型コ

一者一圏九十端 加合を

ベツチ純毛腰巻

げます。然し様似がありますと

**宇福太毛糸特**皮头向毛条品级原

一枚 金三圓五十錢

ラクダ色

を一晩見つなけて来ましたわっお んで来て下さらない?さつとあた 題ひだから、こしに施士さんを呼 たわ、あたたの影や龍士さんの歌 で晶枝を見守つてゐる心御さに堪

要でも見たのちでない?」

大変関色がいる、ゆうべ幸福な一彼の心を突き上げた。

ししく燃えて見えた。

えい、とても幸福な夢ばかり見

- テンを通して営るので、間も類 | と目分一人が、灰色の孤竭の中に

病人の顔をのぞくと、朝日がカー

にかられた。彼女が眠つてしまふ 晶枝をゆりおこしたいでうた衝動 ないか、そんな不安でふと概本は

もよろしい。どう、少しは海分

最後の努力(七)

てしまへば永久に聞めないのでは

だ粗雑ですが悪しからず御歌 彩記で資をふさぎました。あ は八度九分の震器のため日道

> (1)王子と王女の結婚(1)王子の踊り(ロ)子守敬一・舞踊劇曲『火の鳥』より 一、交響和曲第二第一樂章第三

(大阪) 一、空飛~鯨 同八時 (大•中) 濃透透液

一、 道で韓 牧野狂島郡 (東京) 三、山小風閑話 吹雪 (東京) 三、山小風閑話 吹雪 (東京) 三、山小風閑話 吹雪 (東京) 三、近川 春代 | 海川 春代 | 海川 春代 | 海川 春代 |

へられなくなつた。



一放送

同七時三〇分(京)領の修造。同七時五一分(東)ラチャ関語同七時五一分(東)ラチャ関語同九時(唯)領生メモ

一〇時三〇分(城)家庭游览 九時一五分(菜泉通散(平) 九時一〇分(菜泉通散(※) 

市 同九時 即、衛祖 柳 河 同八時 (平) 流行歌

同三時(五分) 御楽楽隆(五) 兆 午前九時三〇分(城) ジアイキリ同(5時(東) 結入の時间 一月の 校里徒(東) 日腿動行 京部作風 大野 せいお 同一〇時(京) 日腿動行 京部作風 大野 せいお 同一〇時(京) 日腿動行 京部作品 大野 しか 高田 〇年(京) 日腿動行 京部作品 大野 しか さいきじょう

田部 數兩一午後零時五〇分(東)吹奏樂

(平) 日用品信費・蛯魚卸回 上午 (平) 日用品信費・蛯魚卸回

(第七回) 物語と唱歌 ・場中大緒 同一 (辞1 O会 (宗) - 書頭 ご代(の) 日の (第七回) 物語と唱歌 ・場中大緒 同一 (辞1 O会 (宗) - 書頭 ご代(の) - 思介小學校二學年及六學年 | 栗中岩内の盆観進隊

|||日 (日)

婦人の時間。 一月の婦人會

婦人たちのために努力される。現氏は婦人が論家、殊に働じく

奥むめお

| げに火ぶたが切られましたが、そ| 上のやうに事柄につきお話しまり歌の第一矢は去年から選挙値上| 事辞歳寒が駆れてきてゐます。

純毛立縞柄アンダー

金三圓九十錢

中太無地アンダー

金二圓四十歲

高級特品

モス極細厚地

三十五の代表者が基すりました。選大管が行は対金細かりました。 脚尾にとのでうな塩があるが解し この間内部の総解職があり最初の

接觸をもつとゆき亘らせ聞く利













個個大 田鐘 賣品 武田の家庭外傷藥 霜やけ、 外傷、火傷、皮膚病に 痛みや痒みを止めます。 傷の癒りを早め、傷口を消毒するほか も進んだ家庭用外協職です。 サキシールに、特殊の設菌網が配合した最 サキシーンは、特殊の設菌網が配合した最

启雨衛兵長田武 整 可多证市政大 元 宜發 店施衛兵斯西小 野會安隸 京原 店班代東部

▲南部の契則、過医の動配額近にて原間が成分したる時

◆受験他師の動強中国がボンヤリして明朝を無く時

◆変験他師の動強中国がボンヤリして明朝を無く時

◆終請、親人正の道で質が飛む時

◆終請、婦人正の道で質が飛む時

◆終請、婦人正の道で質が飛む時 んな時にはする

にあり 各樂店 = m

一五十四日 三十二



◆寒む!感胃→頭痛→チンノーを

要なり。副作用なく連用安全なり要れる。副作用なく連用安全なり。

以って 氣分の爽快を得る

せる新劑にて直接腦神經に 多年の臨床實驗に基き創製

すぐキク 氣分爽快

1回・11回・11回・11回・十回 各地薬店にあり

育 即山音 木浦実日

指揮 エマヌエル・メッテル

|の検理に従って物質が急にあがつ

神道 デョンス

家市調停往案

京」城上支」店大阪商船株式會社

一、民法政正(郑入同志會)「問題)

母子技助法案

あかぎれ

雄雄八日 海洋大日 元山八日 雄雄四日 湖北五日 元山八日 雄雄四日 湖北五日 元山八日

**新七年日** 

腦神經專門藥

房

同六詩五五分(単) カレントトピ

**岡六時(東)名作物景 南無電兒** 

同一〇時の語文換な近の図出

ニュース・天気見込・職

